

採血後の留意事項について

このたびは、健康診断を受診していただきありがとうございました。

健康診断の採血につきましては、十分に注意をしておりますが、採血後に出血を起し、青くなることがあります。

このような症状がありましたら、下記の点にご留意いただきますようお願いいたします。

【内出血する原因】

- ① 採血時に血管から血液がもれる。
- ② 採血後に止血の圧迫が不十分。
- ③ 採血部位とその周辺をもむ、腕を使いすぎた、衣服がきつく腕を圧迫した等で起こります。



【今後の症状】

人によって症状は異なりますが、打ち身と同じ状態です。

内出血は、じわじわと皮膚の下に広がり、採血後3～5日目頃にピークになることが多いです。採血部位から手先や肘の方に広がることもまれにあります。

また、採血部位の周囲がはれて痛みが生じることもあります。

その後は徐々に黄色に変わり、程度によって1～3週間ほどで痛みや色が消え、元の状態に戻ります。

【注意をお願いしたいこと】

- ◎採血部位をもまないでください。
- ◎内出血している腕で重い物を持ったり、負担をかけないようにしてください。
- ◎熱感や痛みのある場合は、氷、ぬれタオル、湿布薬などで冷してください。
- ◎ご心配でしたら、最寄りの医療機関（かかりつけ医、整形外科）に受診されることをお勧めいたします。